No.434

# 広報 みぶ

7年 7月

流れるプール

涼を求めてにぎわうふれいあいプール（昨年撮影）

## 夏本番

梅雨が明けると、ジリジリと焼けつくような太陽。本格的な夏の到来です。

照りつける太陽のもと、野外に出かける計画の方も多いと思います。家族や友人との海水浴やキャンプなどは、夏の楽しい思い出となることでしょう。しかし、夏になると増えるのが水の事故です。子どもたちだけで海や水辺に行かせる事なく、親が必ず付き添って目を配りましょう。

発行　壬生町役場　編集 総務部企画財政課　毎月15日発行　〒321-02 栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　☎0282-82-1234

# ふれあいと対話が築く明るい社会

子どもたちが待ち望んでいた夏休みがやって来ました。勉強やスポーツ、遊びなど、さまざまな計画を立てていることでしょう。

しかし、一方で夏休みに入ると、子どもたちは学校生活から解放され、気持ちが緩み、生活のペースが乱れがちになります。こんなとき、ちょっした好奇心から非行にはしることが少なくありません。

情報過多の時代といわれる中、子どもたちを取り巻く社会全体の環境が悪化していることも少なからず原因があるでしょう。

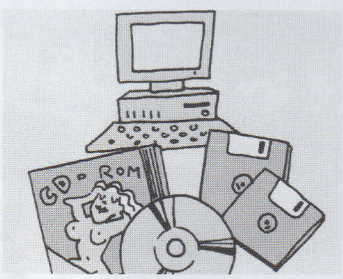
子どもたちが健やかに伸び伸び成長できる明るい社会をつくるために、家庭や学校、職場、地域社会などで、わたしたち大人が親身になって子どもたちとふれあい、対話を心がけたいものです。そして、非行を防ぎ犯罪を起こさせない環境を、お互いにつくりあげていきましょう。

## 栃木県青少年健全育成条例が改正

青少年を取り巻く社会環境を浄化し、健全育成を図るため、栃木県条例により有害雑誌、有害ビデオ等に対する規制が７月１日から強化されました。

### ★主な改正のポイント

#### ○『図書等』の定義の拡大

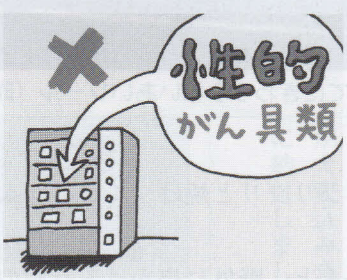



市販されているフロッピーディスクやＣＤ－ＲＯＭ等の中には、著しく青少年の性的感情を刺激し、健全な育成を阻害するものがあり、社会環境に悪影響を与えております。そこで、フロッピーディスクやＣＤ－ＲＯＭ等も有害指定対象物となりました。

#### ○緊急指定の追加

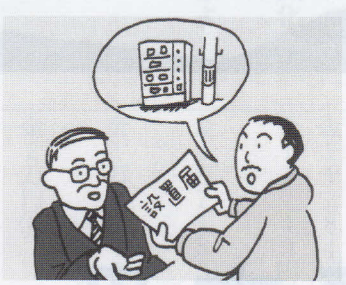
青少年に有害な図書等・がん具類・広告物に対して、知事がこれらの物を審議会の意見を聴いて有害指定しておりますが、特に緊急に有害物の指定をする必要を認めた場合は、審議会の構成員のうち２名以上の意見を聴いて有害指定することができるようになりました。

#### ○有害がん具類の追加




最近、特に自動販売機に性的がん具類が収納されているケースが目立ってきました。そこで、性行為等の用に供するがん具類で、規則で定める形状、構造、機能を有するがん具類を有害がん具類（包括有害指定のがん具類）とし、規制の対象となりました。

#### ○自動販売機等の設置届出等




がん具類の自動販売機等設置の届出制がないため有害がん具類販売の自動販売機等業者の実態が不明であることなどから、届出対象となる自動販売機等に、がん具類の自動販売機等を加え、その届出の時期が当該自動販売機等を設置する前となりました。

## ○自動販売機等管理者の設置

自動販売機等業者が住居等から遠隔の地に自動販売機等を設置するか又は使用しているため、その管理が十分でない場合が多くありました。そこで、自動販売機等業者に自動販売機等を適正に管理させるため、その管理を行う者を自動販売機等ごとに置くことになりました。

## ○自販機等への有害図書･有害がん具類等の収納制限

自動販売機等による図書等又はがん具類の販売・貸し付けが、人手を経ないで行われるため、青少年といえども自由に利用できる状態にあります。そこで、自動販売機等へ収納できないものにがん具類を加えることになりました。さらに自動販売機等業者又は自動販売機等管理者は、現に収納している図書等又はがん具類が有害指定されたときは、直ちに当該有害図書等又は有害がん具類を撤去しなければならないことになりました。

## ○罰則の強化

青少年に対し、直接的に害悪が及び、しかも社会的に容認することのできない反社会的行為と図書等の販売等違反、自動販売機等にかかる届出及び表示義務違反、立入調査員の権限行使に対する正当な理由のない妨害行為等について、右表のように罰則が強化されました。

### 罰則一覧表

| 内　　容 | 罰　　則 |
|---|---|
| いん行を行った者 | 1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 |
| 有害行為のための場所提供等 | |
| 有害図書等の販売違反 | 30万円以下の罰金 |
| 自動販売機等への収納違反 | |
| 自動販売機等からの撤去義務違反 | |
| 深夜連れ出し | 20万円以下の罰金 |
| 自動販売機等の無届、虚偽の届出 | 10万円以下の罰金 |
| 自動販売機等の表示義務違反、虚偽の表示 | |
| 立入調査の拒否、虚偽の陳述 | |

青少年健全育成町民のつどい

## 家庭での健全育成を推進

「青少年を非行から守り社会を明るくする運動」の一環として、町青少年問題協議会並びに町青少年健全育成実施委員会主催の青少年健全育成町民のつどいが７月１日、壬生中央公民館で開かれ、約４００名が参加しました。

当日は、島田克己実施委員長、清水町長、桑田栃木警察署長のあいさつの後、中学生・高校生・社会人による青少年健全育成主張の発表、主張者と標語入賞者の表彰のほか、外山滋比古昭和女子大学教授による『家族という名の「学校」としつけ方』と題した特別講演が行われました。

主張発表

○「国際交流と相互理解」
　大出　江美（社会人）
○「私のたからもの」
　山野井諭子（壬生高２年）
○「この一球」
　大塚　藍（壬生中３年）
○「出会い」
　清水久美子（南犬飼中３年）

標　語

◇最優秀　赤木清美（壬生中２年）
◇優　秀　早乙女美紀（壬生中2年）
　荒井嵩（南犬飼中２年）

町長へメッセージを手わたす亀田会長

## 法務大臣メッセージを伝達

石橋保護区保護司会

本年で第45回を迎える“社会を明るくする運動”の実施に当たり、石橋保護区保護司会（亀田和己会長）が６月12日、町長室を訪れ、法務大臣からのメッセージを清水町長に伝達しました。

同運動は、国民一人ひとりが、犯罪や非行の防止と不幸にして罪を犯してしまった方たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい社会を築くことを目的とするもので、毎年７月を強調月間として全国的な運動を展開しています。

# 児童養育家庭への助成制度をご利用ください

21世紀を担う子どもたちが、健やかに成長するように、養育家庭への支援を目的として、児童手当、遺児手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の制度があります。資格があっても、申請をしないと手当が受けられませんのでご注意ください。

## 児童手当

児童手当は、3歳未満の児童を養育する方に支給されます。

ただし、左の限度額表のように所得による制限があります。

国民年金に加入されている方は児童手当の限度額欄を、その他の年金に加入されている方は、さらに特例給付の限度額欄を参考にしてください。

なお、限度額は、児童を養育する方の平成6年分の所得税法上の扶養人数の欄が基準になります。

あなたの所得額は、平成6年分の所得額から一律に8万円を控除した額となります。

### 平成7年度 児童手当所得制限限度額表

| 扶養親族等の人数 | 児童手当 所得額（円） | 特例給付 所得額（円） |
|---|---|---|
| 0人 | 1,486,000 | 3,278,000 |
| 1人 | 1,786,000 | 3,578,000 |
| 2人 | 2,086,000 | 3,878,000 |
| 3人 | 2,386,000 | 4,178,000 |
| 4人 | 2,686,000 | 4,478,000 |
| 5人 | 2,986,000 | 4,778,000 |

**手当月額**
・第一子　5、000円
・第二子　5、000円
・第三子以降　10、000円

**支給月**
6月、10月、2月

## 遺児手当

遺児手当は、父母の一方または両方が死亡した児童（義務教育終了前）を養育する方に支給します。

ただし、町民税の所得割を課せられない場合だけ受けられます。

**手当月額**
・児童一人あたり　3、000円

**支給月**
6月、9月、12月、3月

## 児童扶養手当

児童扶養手当は、父親がいないか、あるいは父親に重度の障害がある家庭などの児童を養育している方に支給されます。

支給対象児童の年齢は、18歳到達の年度末までです。

離婚等の事実の発生時点から5年を経過してしまうと、請求資格がなくなります。また、所得によって全額、一部支給停止、または支給されない場合があります。

**手当月額**
・児童一人　41、390円
・児童二人　46、390円
・児童三人以降　3、000円加算

※一部支給停止は13、700円の減額になります。

**支給月**
4月、8月、12月

## 特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、精神または身体に障害（一級・二級）のある児童（20歳未満）を養育する方に支給されます。

ただし、一定の所得額以下の場合に限られます。

**手当月額**（一人あたり）
・一級該当　50、350円
・二級該当　33、530円

**支給月**
4月、8月、11月

**◇問合せ先**
各種手当の請求方法や対象児童、所得制限などくわしくは、役場民生部福祉課児童福祉係
☎82―1234内線113
へお問い合わせください。

## 同和対策推進県民運動強調月間

# 差別のない社会をつくろう

憲法第14条は「すべての国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的、又は社会的関係において差別されない。」と基本的人権について規定しています。

しかしながら、私たちをとりまく社会においては、今日でさえ、さまざまな差別があり、なかでも被差別部落の問題、いわゆる同和問題は、非常に深刻な社会問題として現存しています。

このため、同和問題の早期解決を目指し、県、市町村はもちろん各種民間団体で構成している栃木県同和対策推進県民会議では、8月1日から31日までの1か月間を「同和対策推進県民運動強調月間」と定め、さらに12月4日から10日までの『人権週間』を「同和対策推進県民運動強調週間」として、集中的啓発活動を推進します。

# 壬生町職員募集

町では、平成8年度に採用する職員を次のとおり募集します。

### 職種及び採用人員

◇一般事務　若干名
・昭和45年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた方
・学歴は問いません

◇保健婦　1名
・昭和45年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた方で、保健婦の免許取得者、または平成8年5月末日までに保健婦の免許を取得する見込みの方

### 住居要件

・通勤時間がおおむね50分以内の方

### 手続き

・職員採用試験案内及び申込書は、7月20日から役場総務部総務課（本庁2階）で配布します。（郵送での請求もできます）

### 受付期間

・7月20日(木)～8月17日(木)

### 受付時間

・月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時まで

### 試験日

・9月17日(日)

### 問合せ先

・役場総務部総務課庶務人事係
☎82－1234内線206

## 同和対策推進県民運動

# 啓発ポスター図案募集

啓発活動の一環として、基本的人権を尊重する意識を高め、同和問題の早期解決を図り、差別のない社会、さらには21世紀に向け希望と活気に満ちた新しい社会―ちぎ新時代―を築くことを目標に啓発ポスター図案を募集します。

**○募集のねらい**
同和問題の早期解決をめざした啓発ポスター図案であること。

**○応募資格**
県内に居住する中学生以上の方

**○応募規定**
①大きさ及び形式は、B3判縦型（但し、高校一般の部は、B2判縦型でも可能。）パネルは不可。
②図案に使う標語は、下記の中から選ぶか、創作すること。
③自作、創作で未発表の作品。
④作品は、裏面に住所、氏名（ふりがな）年齢、職業（学生は、学校名、学年）を明記。

**○締切日**　9月29日必着

**○応募及び問合せ先**
〒320　宇都宮市塙田1－1－20
栃木県県民生活部同和対策課
☎0286－23－3026

**○標語**
・見すごすな許すな身近にある差別
・知らぬまにしてはいないか小さな差別
・思いやる心が差別をなくすかぎ
・いわれなき差別するまいさせるまい
・差別なき郷土づくりはみんなが主役
・平等は人それぞれの心から
・認め合う心が結ぶ住みよい社会

# 同和問題講演会

同和問題についての正しい理解と認識を深めていただくため、次のとおり同和問題講演会を開催します。

◇日　時　8月18日（金）
午後1時30分～3時30分

◇会　場　那須野が原ハーモニーホール
（大田原市本町1丁目2703番地6）

◇講　演　・演　題
「人として母として学んでよかった同和教育」
・講　師
主婦　湯浅　昭子氏

※入場は無料です。

◇問合せ先　栃木県県民生活部同和対策課
☎0286－23－3026

田植え（安塚小）

サツマイモの苗を植え付ける（羽生田小）

## わくわく農業体験モデル事業

# 羽生田小・安塚小で農業体験学習

町では、農業・農村のイメージアップと意欲あふれた若い農業者の育成等を目的とした「わくわく農業体験モデル事業」を実施するに当たり、県や栃木農業改良普及センターなどの支援を受け、町教育委員会、羽生田・安塚両小学校、町農業協同組合などの協力を得て、わくわく農業体験実行委員会を6月に発足しました。

同委員会では、羽生田・安塚両小学校をモデル校として、体験スクール農園を設置、羽生田小学校では、6月1日にサツマイモの苗付け、17日に田植えを全校生徒で行い、また、安塚小学校でも花壇を利用して水田を作り、6月5日に2年生が田植えを体験しました。

この他にも、両小学校では各学年ごとに野菜や草花の栽培を行っています。

当事業は、地域及び地域農業者が一体となって、児童やそのご両親を対象として、農産物加工を含めた興味豊かな農業体験学習を推進するもので、農業体験を通して農業の素晴らしさや作物を育てる喜びなどを味わってもらおうというものです。

## 道路愛護功労者表彰

# 恵川土地改良区、本郷七福会

# 県道路愛護連合会会長表彰を受賞

受賞された恵川土地改良区（中央）七福会（左）と清水町長

栃木県並びに栃木県道路愛護連合会主催の道路愛護功労者表彰式が6月29日、栃木会館で行われ、その席上、壬生町道路愛護会の恵川土地改良区並びに七ツ石本郷老人クラブ七福会の2団体が、道路愛護功労団体として栃木県道路愛護連合会会長表彰を受賞しました。

これは、2団体ともに多年にわたり、地域内の国、県、町道を定期的に空き缶拾いや清掃を実施するほか、道路沿いの花壇などにタピアンやサルビア、マリーゴールドなどの草花を植え道路の美化を図るなどの功績が認められ、今回の表彰になったものです。

なお、2団体は、昨年行われた道路愛護作業コンクール・花いっぱい部門において優秀賞を受賞されています。

## 婦人の健康づくり事業

# 骨密度で健康チェック

「婦人の健康づくり検診」が6月13日、保健福祉センターで行われました。

これは、18歳から39歳の婦人を対象に行っていた婦人の健康づくり検診に、骨粗しょう症検診が加えられました。

骨粗しょう症検診は、超音波によりかかとの骨量を調べるもので、今年から新たに実施し、この日は50名の方が受診いたしました。

骨の一生を考えると、骨密度の値は、20歳ぐらいが最大に達し高齢になるとともに減少すると言われています。骨を大きく太く丈夫にするために、日ごろから屋外での運動やカルシウムを多く含む食品を摂るように心掛けることが大切です。

めでたく10万人目となった田崎さん親子

## おもちゃ博物館
## 来館者10万人を超える

4月23日に開館したおもちゃ博物館の延べ入場者数が6月4日に10万人を突破しました。

めでたく10万人目となったのは宇都宮市平出町の小学3年生田崎朝子さんで、清水町長や同博物館のスタッフが出迎え、犬の縫いぐるみなどのプレゼントで祝福を受けました。

朝子さんはお母さんと妹の3人で同博物館を訪れたそうで、「以前に一度訪れたときには入館時間に間に合わなかったのでもう一度来たのですが、そのことが思わぬ幸運となってびっくりしています」と喜んでいました。

## 国際公募、第31回亜細亜現代美術展
# 神門氏 文部大臣奨励賞受賞

社団法人亜細亜美術交友会主催による「国際公募、第31回亜細亜現代美術展」が6月に東京上野の東京都美術館で開かれ、手描友禅師の神門錂三（こうとつぞう）さん（西高野）が、友禅の草木染「軍鶏（しゃも）」で文部大臣奨励賞を受賞しました。

この作品は、クルミ、ザクロ、貝殻虫などを使って染められているのが特徴で、「自然の色合いが出るし、時間がたつほど色が良くなるんですよ」と話していました。

同美術展は各国から参加を募っており、今年は絵画、陶器など331点が出品、神門さんは「身近でだれにでもわかる芸術」をモットーに、「鳥」をテーマとして4年前から出品し、3年連続で入賞していましたが、文部大臣奨励賞は初めてで、「長い間私を支援してくださった方々に感謝しています。今後はテーマを変えて新しい分野に挑戦していきたい」と受賞を喜んでいました。

神門さんは福井県の出身で、大阪美術学校を卒業後、染色工芸家の矢島青郎氏に弟子入りして5年間染色を学び、昭和44年に瀧染色美術工芸社を東京に設立、そして20年ほど前に壬生町に本拠を移し、現在に至っています。

なお、同作品は今後、金沢市や中国上海市の展示会で公開される予定になっています。

入賞した神門さん（左）と清水町長

受賞作の草木染「軍鶏」

## 資料館コーナー
### 蘭学通りに活躍した明治期の医師たち（3）
### 五十嵐　順知（いがらし　じゅんち）

○邸宅は、現在の「宇都宮信用金庫さん」です。

幼名は、柳次郎。字は美盛。上都賀郡西方村金崎五十嵐盛隆の長男として、1841年（天保12年）4月に生まれました。

1854年（安政元年）東都の榊原好文のもとへ入門し、また、山口藩・村田蔵六（大村益次郎）等に従い蘭学を学びました。その後、佐倉順天堂の佐藤尚中（さとうたけなか）の門に入って修業しました。1862年（文久2年）、郷里の壬生藩に開業するとともに壬生藩鳥居忠宝（ただとみ）奥医師になりました。

順知の事跡を列挙すると、次のとおりです。

1863年（文久3年）鳥居候大阪城在勤のため奥医師として同行し、その翌年（元治元年）には水戸天狗党の乱において軍陣医学の療法をもって、負傷者を治療しました。1871年（明治4年）大学東校（東京大学医学部）において種痘免状をもらい、1873年（明治6年）に栃木県種痘医を拝命し、1874年（明治7年）から1876年（明治9年）にかけて八十八町村の種痘施行にあたりました。

また、1879年（明治12年）下野にコレラ流行の時には、検疫医となり治療用の薬剤を施し患者救療のため尽くしました。

なお、順知が公共事業に尽力したのは、次のとおりです。

栃木県検疫医2回、栃木県衛生会委員4回、下都賀寒川郡第三衛生区種痘担当医員、壬生町議会議員2回、下都賀郡開業医幹事、大日本私立衛生会員、大日本赤十字社正社員、栃木県医会委員、赤十字社栃木県委員を歴任しました。とりわけ、天然痘及びコレラの治療と予防に活躍しました。

順知は、68歳で1909年（明治42年）に没しました。

次回は、神戸　察翁です。

# STOP AIDS 考えてみませんか！

## お子さんの性教育・エイズ教育を

壬生町エイズ教育（性教育）推進委員会

## 『家庭でできる性教育･エイズ教育』を読んで

壬生町エイズ教育（性教育）推進委員会では「保護者のための性教育・エイズ教育の手引き」第２章を過日、町内の小・中・高校の全ＰＴＡ会員に配布しました。

お読みになった保護者の方から、各学校に感想が寄せられました。「エイズについての理解が深まった」「エイズ患者・感染者への偏見について考えさせられた」「家庭の役割の大きさを痛感した」・・・それらの中からいくつか紹介します。

○　エイズは悪いものとは分かっていると思うが、身近な所の一般書店などに表紙からしていかがわしい本や道端に、あられもない恰好が写っているビデオを売っている自販機等が設置されていること自体、社会的に問題ではないだろうか。

　個人やある程度の団体等で話し合ったり問題にするのもいいが、行政的に規制するなどしていく必要があると思う。

○　テレビ、雑誌、マスコミ等のあいまいな外部情報により、私たち親自身も正しくエイズについて理解しているとは言えません。確かに、日常の生活のなかでは感染しないということですが、どうしても心のなかでは偏見や誤解をもち、差別的な目で見てしまうのが現実ではないかと思います。

　その誤解をまず、親自身が消さなければ子どもに正しく話すことは難しいなと思いました。もっと勉強し、エイズになぜかかるのか、なぜ怖いのかということを親子ともども正しく認識し理解していきたいと思いました。

○　その家によって違うと思うのですが、「エイズ」を子どもたちに教えることは、簡単なようでとてもむずかしい。

　いつ、どんな時に、どう話を切り出すか・・・そうこう考えているうちに「またの機会にしよう」と思い、話しそびれる。それの繰り返し・・・

　でも、近いうちに話してみようと思います。その時は、親子全員、一人も欠けずにいつもの雰囲気を変え、まじめに話し合いたいです。

○　先日、ＨＩＶ感染者の青年がテレビに出ているのを見ました。その青年の友達には、全然差別や偏見などありませんでした。とても感動的でした。

　少し昔は、「エイズ」というと白い目で見られるような社会だったと思います。でも、現在では、少しずつ進歩していると思います。一人ひとりの心掛けで感染者や患者の気持ちを楽にさせてあげられればいいなと思います。

　この手引き等はとても為になりありがたく感じます。

### 家庭教育学級
## 「エイズ教育講話」開催予定

昨年度、好評を得ました小・中学校での家庭教育学級「エイズ教育講話」が今年も５校で開かれます。今後の予定は、次のとおりです。

・羽生田小学校　９月11日　13時30分から
・壬生北小学校　９月26日　13時30分から

講師はいずれも、エイズ ミニ知識の監修者　松本幸三先生で「性教育とエイズ教育について」の演題で講話をされます。

## エイズ ミニ知識 その17

監修　栃木県伝染病予防調査協議会会長
栃木県連合学校保健会会長
松　本　　幸　三

質問にお答えします

### 現在、日本国内でＨＩＶ感染者が増えている事情について……

栃木県については、本年４月末の報告によりますと、ＨＩＶ感染者数は42人で、このうち30人が外国人となっています。特に女性では、感染者数28人のうち26人が外国人です。

この感染の状況を、感染経路から見てみますと

・日本人同士の感染
・日本人から外国人
・外国人から日本人
・外国人同士

が考えられ、さまざまな感染ケースが含まれていると見られています。

これ以上、社会からエイズ患者・感染者を増やすことのないように、「自分にはエイズは関係ない」というのでなく、「エイズにはだれでも感染する可能性がある」という姿勢に立ち、私たち一人ひとりがエイズに関する正しい知識を身につけていきたいものです。

エイズ教育に関する質問がありましたら、壬生町教育委員会教務課までご連絡ください。(82-0934)

## 壬生町小学校陸上大会

# すばらしい記録が続出

壬生町学校体育連盟主催の平成7年度壬生町小学校陸上大会が6月20日、町総合運動場で開かれました。

大会は、町内各小学校から選抜された5年生（男・女）と6年生（男・女）が出場し、トラックの部3種目とフィールドの部2種目にわたり競技が行われました。

選手は、この日のために毎日早朝練習などを行い、各種目にすばらしい記録が続出していました。

なお、この大会の記録上位者は、郡大会（7月21日）および県民スポーツ大会（9月24日）に出場します。

## 大会成績

◇5年生男子

100m走　1位　手塚　博志（安小）　15秒50
200m走　1位　田中　秀幸（東小）　32秒72
1000m走　1位　鈴木　宏為（稲小）　3分31秒58
走り幅跳び　1位　東川　伸一（安小）　384cm
走り高跳び　1位　荒川　好和（壬小）　115cm
三　位　安塚小学校（五十嵐宏之、寺内英憲、鈴木康生、稲葉哲也）

◇個人の部

優　勝　宇賀神舞（壬生東小学校）
準優勝　神永公宏（羽生田小学校）
三　位　大橋　彩（壬生小学校）
四　位　佐藤あいみ（壬生東小学校）
五　位　関口達哉（睦小学校）

また、6月29日に栃木第二小学校で行われた栃木地区大会（壬生町、栃木市、大平町、岩舟町、都賀町）には、上位2チーム（壬生東小、羽生田小）が出場し、両チームの活躍はめざましく、壬生東小学校チームが見事優勝、羽生田小学校チームが第3位と健闘しました。

なお、優勝した壬生東小学校チームは、県大会（7月13日、県体育館）に出場しました。

◇5年生女子

100m　1位　山名奈津美（稲小）　15秒87
200m走　1位　大塚　江利（睦小）　34秒33
800m走　1位　長谷川あゆ美（北小）　3分03秒48
走り幅跳び　1位　黒子　知佳（稲小）　345cm
走り高跳び　1位　小林紗知江（東小）　110cm

◇6年生男子

100m走　1位　小野　真史（東小）　14秒20
200m走　1位　金村　拓郎（東小）　30秒82
1000m走　1位　金村　拓郎（東小）　3分30秒13
走り幅跳び　1位　野口　洋輔（安小）　440cm
走り高跳び　1位　古谷　憲之（睦小）　130cm

◇6年生女子

100m走　1位　佐藤　宏美（東小）　14秒79
200m走　1位　松井　有香（壬小）　32秒17
800m走　1位　清水　恵美（羽小）　2分50秒34
走り幅跳び　1位　清水　恵美（羽小）　361cm
走り高跳び　1位　榆木　美穂（稲小）　115cm

優勝の壬生東小チーム

準優勝の羽生田小チーム

## こども自転車競技大会

# 壬生東小学校が団体優勝

第24回壬生町交通安全こども自転車競技大会が6月16日、町総合運動場で行われ、町内8小学校から8チーム32選手（1チーム4人編成）が出場し、安全運転技術を競いました。

競技は、交通規則や道路標識問題など60問の学科試験と安全走行テスト（当日雨天のため実施せず）と技能走行テストの実技の総合得点で競われるもので、選手たちは、審査員の厳しいチェックの中、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮していました。

成績は、次のとおりです。

◇団体の部

優　勝　壬生東小学校（鈴木麻希子、宇賀神舞、神永芳恵、佐藤あいみ）
準優勝　羽生田小学校（木野内亜由美、舘野知浩、高山聡美、神永公宏）

# い広場

## お達者カップル78

六美町北部
礒　兵藏さん（７５）
　　ヒロさん（７０）　夫妻

「毎朝6時から1万歩を目安に1時間ぐらいの散歩を欠かしたことがありません。これが健康を維持する秘訣になっているんじゃないですかね」と話す礒さんご夫妻。兵藏さんは、益子町芦沼の出身

## 青春スケッチ50

### いろいろなスポーツに挑戦

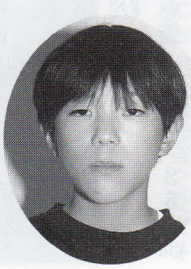
緑町一　江野　孝子　さん

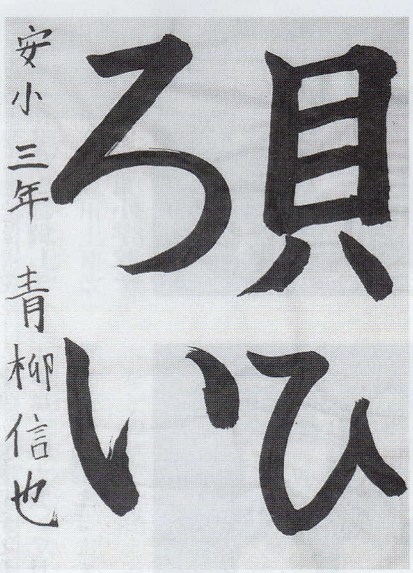
「スポーツが好きで、今は２年ほど前から始めたＭＴＢ（マウンテンバイク）に熱中しています。そのほか、冬はスキーに出掛けることが多いですね」という孝子さん。

休日は「自転車クラブの友人とＭＴＢでツーリングに行ったりすることが多い」とのこと、「これからもいろいろなスポーツに挑戦していきたい」と笑顔で話すとても活動的なお嬢さんです。

## 私の作品

「魚つり」
安塚小学校６年
矢　倉　祐　太






安塚小学校３年
青　柳　信　也

# ふれあ

写真右から榎本教育長、佐藤宏美さん、松本先生、手塚先生

## 全国小学生陸上競技交流大会県予選
## 佐藤宏美さん（壬生ＪＡＣ・壬生東小６年）
## 二年連続全国大会出場（女子１００ｍ走）

第11回全国小学生陸上競技交流大会の栃木県予選が６月18日、栃木市総合運動公園陸上競技場で行われました。

本町からは、６年生女子１００ｍ走の部に、壬生ＪＡＣ（町内小学生の陸上クラブ、平塚監督）から佐藤宏美さん（壬生東小学校６年）が出場、佐藤さんは、予選２レースを無難にクリアし決勝へ進出、決勝戦においても14秒４のすばらしい記録で優勝し、８月25、26日に国立競技場で行われる全国大会出場の切符を手にしました。

なお、佐藤さんは昨年の全国大会においても、女子５年１００ｍ走で７位に入賞しており、２年連続の出場となります。

で、昭和９年に東京へ出て鉄工所に勤務していましたが、昭和15年10月に召集により宇都宮７９３６部隊に入隊、上海、紹興付近の警備や銃工兵として従軍、その後、タイで終戦を迎え、昭和21年５月に日本に戻りました。

帰国後、兵藏さんは再び鉄工所に勤め始め、茨城県茨城町の出身で東京で家事手伝いとして働いていたヒロさんと昭和22年に結婚し、昭和55年まで鉄工所に勤められました。

お二人の趣味は、兵藏さんが詩吟（三段）、民謡、尺八、将棋で、ヒロさんが民謡だそうです。特に民謡は、お二人していっしょに教室に通ったこともあるそうで、ヒロさんは、昭和55年に江東区民謡連合大会の壮年部で優勝した経験をお持ちです。現在、お二人共通の趣味はゲートボールで、週４回の練習や県内あちこちで行われる大会にいっしょに出掛けるそうです。

そのほか、お二人ともカラオケが好きで、「母の日や父の日、そして家族の誕生日などの記念日に家族そろってカラオケなどに行くのがとても楽しいですね」と話してくれました。

## チビッ子アルバム

栞理（しおり）ちゃん（１歳）
（父）小宮山　昭彦さん
（母）〃　久子さん（万　町）

**お母さんから一言**
明るい元気な子になってね。

百香（ももか）ちゃん（１歳）
（父）櫛田　猛さん
（母）〃　明美さん（六美町南部第一）

**お母さんから一言**
元気で明るく素直な女の子になってね。

## 町学童少女ソフトボール大会

# 安塚フロンティアが優勝

優勝の安塚フロンティアチーム

安塚フロンティア　001 030 04
壬生北クラブ　000 100 01
審判(主)阿久津(一)荒川(二)松川(三)井上

第14回壬生町学童少女ソフトボール大会が6月18日、24日の2日間にわたり、町総合運動場において、町内の学童少女6チームが参加して行われました。

24日の決勝戦には、安塚フロンティアと壬生北クラブが駒を進め、白熱した試合展開となり、3回と5回に確実に点を重ねた安塚フロンティアが4対1で壬生北クラブを破り優勝しました。

なお、両チームは8月12日から行われる第23回栃木県学童少女ソフトボール大会に出場します。

## 老人クラブゲートボール大会

# ハッスルプレーが続出

壬生町老人クラブ連合会（中村栄吉会長）主催の第16回壬生町老人クラブ連合会ゲートボール大会が6月7日、町総合運動場に町内の単位老人クラブから40チームが参加して行われました。

競技は、7ブロックに分かれブロック優勝をめざして行われたもので、競技に応援にと随所でハッスルプレーが繰り広げられていました。

成績は、次のとおりです。

◇ブロック優勝

1ブロック　上長田チーム
2ブロック　本郷チーム
3ブロック　国谷新田チーム
4ブロック　落合本田チーム
5ブロック　上田長寿会チーム
6ブロック　北小林寿チーム
7ブロック　国谷外道チーム

優勝の壬生中チーム

## 関東中学校ソフトボール大会
## 地区予選会（栃木県大会）

# 壬生中学校が優勝

第23回関東中学校ソフトボール大会地区予選会が6月1日から3日までの3日間にわたり、栃木県総合運動公園に県内32チームが参加して行われました。

本町からは、壬生中学校ソフトボールチームが出場し、並いる強豪チームを次々と破り決勝に進出しました。

決勝戦の対戦相手は、黒磯市の日新チーム、お互いに走・攻・守揃ったチーム同士の対戦となり白熱した試合が展開されましたが、確実に得点を重ねた壬生中チームが、4対1と日新チームを破り優勝しました。

なお、壬生中チームは、8月に茨城県ひたちなか市で行われる関東大会に出場します。

## 町民ゴルフ大会

# 112名が腕を競う

右から、安楽さん、柏崎さん、斎藤さん

第7回壬生町町民ゴルフ大会が6月5日、宮の森カントリー倶楽部で行われました。

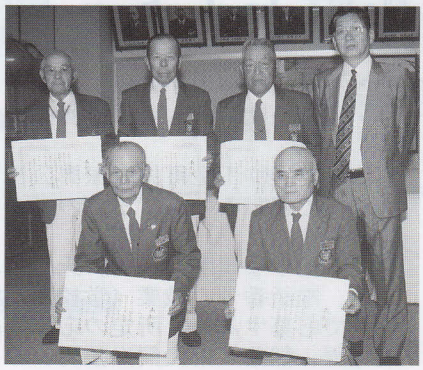
大会には、男子の部102名、女子の部に10名の計112名が参加し、自慢の腕を競い合いました。

各部門の入賞者は、左表のとおりです。

| 男子の部 | | ネット | グロス |
|---|---|---|---|
| 優　勝 | 柏崎　一之 | 62.6 | 77 |
| 準優勝 | 福田　修治 | 64.8 | 96 |
| 3　位 | 鈴木　拓男 | 65.0 | 77 |
| 4　位 | 斎藤　裕一 | 66.2 | 71 |
| 5　位 | 毛塚　俊照 | 66.6 | 93 |
| 6　位 | 国安　正章 | 66.6 | 93 |
| 7　位 | 山川　恒夫 | 67.0 | 103 |
| 8　位 | 大塚　勝己 | 67.8 | 75 |
| 9　位 | 石島　英明 | 67.8 | 75 |
| 10　位 | 高橋　正義 | 68.4 | 78 |
| 女子の部 | | ネット | グロス |
| 優　勝 | 安楽　敬子 | 67.6 | 94 |
| 準優勝 | 西山　輝子 | 78.2 | 107 |
| 3　位 | 森田　敏江 | 78.4 | 100 |
| 男子グロスの部 | | スコア | |
| 優　勝 | 斎藤　裕一 | 71 | |
| 準優勝 | 松本　広志 | 71 | |
| 3　位 | 大塚　勝己 | 75 | |
| 4　位 | 石島　英明 | 75 | |
| 5　位 | 小島　正司 | 75 | |
| 女子グロスの部 | | スコア | |
| 優　勝 | 安楽　敬子 | 94 | |

## 県ゲートボール協会10周年記念式典

# 5名の方が功労者表彰受賞



受賞された皆さん

県ゲートボール協会の創立10周年記念式典が5月30日に宇都宮市、6月6・7日に藤原町において行われ、その席上、町ゲートボール協会（高木辰雄協会長）から5名の方々が功労者表彰を受賞されました。

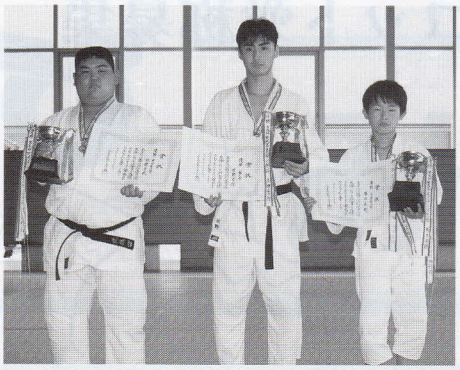
これは、10周年を記念して県ゲートボール協会及び地元ゲートボール協会の充実発展に功労された方に贈られたものです。

受賞された方は次のとおりです。

・高木　辰雄（本　郷）
・高橋　政夫（城　内）
・大垣吉太郎（上　田）
・川嶋　準六（幸町四丁目）
・戸崎　義雄（三　好　町）

## 町民柔道大会

# 3部門で熱戦を展開



各部門の優勝者

第9回町民柔道大会が6月25日、町総合運動場武道館で行われ、小学生、中学生、一般の3部門で熱戦が展開されました。

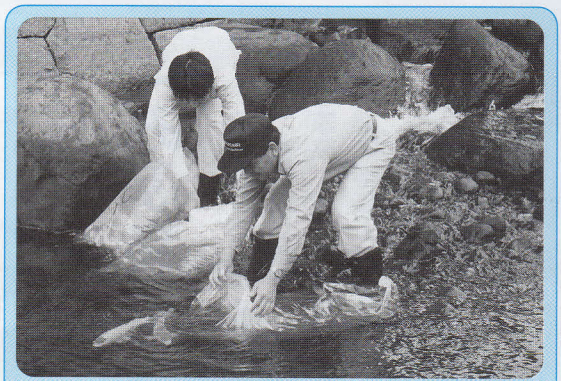
結果は次のとおりです。

◎小学生の部
優　勝　勝目　直樹（壬生小）
準優勝　大渕　智昭（壬生東小）
◎中学生の部
優　勝　北條　秀武（南犬飼中）
準優勝　大渕　和浩（壬生中）
◎一般の部
優　勝　佐野　秀行（濁協医大）
準優勝　能重　和正（濁協医大）

# ファミリー体育祭で親睦を深める

下表町自治会（早乙女太平会長）では5月7日、町南部運動場に多数の方が参加して、第4回ファミリー体育祭を行いました。

これは、会員相互の心の交流を図ろうと行っているもので、この日は、各班から選ばれた選手たちが、赤、白に分かれ隣近所の人たちの応援を受けながら借り物競争やむかで競争などに汗を流し、楽しい一日を過ごしました。



# 錦鯉（40匹）を寄贈

三好町在住の船橋三雄さんより6月22日、宇都宮市「尉代（じょうだい）養鯉場」で育てられた錦鯉約40匹（15～30㎝位）が寄贈されました。

町では、さっそくこの鯉を城址公園の堀に放流しました。優雅に泳ぐ錦鯉の姿が皆さんの目を楽しませてくれると思います。

なお、船橋さんには、昨年も鯉の幼魚をいただいております

## 芸文

### 文化協会文芸部選

#### 短歌

針持つを億劫（おっくう）にして綻（ほころび）を
安全ピンにとめて久しき
角田　節子

その時になれば何とかなるものと
当てなきままにその日近づく
黒尾　チエ

飼猫の四十日も帰らねば
家族のひとり欠けたる思い
上野かづ子

円高はわが住む町にもおよびきて
輸入野菜の多く並べり
石井　ヒロ

#### 俳句

仮設舎を出る当てのなく明易し
宇井　秋汀

心太（ところてん）こころの支え呑（ささ）みこめり
鈴木　文二

雨音にうばわれし夢明けやすし
粂川　正枝

短夜（みじかよ）や余生を何にそそぐべき
鈴木　喜勝

# 壬生町おもちゃ博物館マスコット愛称募集

「おとなの郷愁とこどもの夢のかけ橋」をメインテーマに、平成７年４月23日オープンした壬生町おもちゃ博物館のマスコットの愛称を募集します。

◎主　　催　壬生町・(財)壬生町施設振興公社
◎作品内容　明るくて親しみのもてるもので、自作未発表の作品に限ります。
◎応募規程　愛称と簡単な説明、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号、職業（学校名、学年）を明記のうえ、郵送で応募するか、所定の応募用紙（役場経済部商工観光課、稲葉・南犬飼出張所、おもちゃ博物館に備えてあります）にて応募ください。
応募点数制限なし（ただし、１枚につき１点）
応募作品は返却しません。
◎応募資格　どなたでも応募できます。
◎応募締切　８月31日（当日消印有効）
◎賞　・最優秀賞　１点　賞品
・優 秀 賞　２点　賞品
◎発　　表　入賞者に直接通知し、町広報に掲載します。
◎注意事項　・同名作品多数の場合は、抽選で選出します。
・最優秀作品の著作権は、主催者に帰属します。
◎応募及び問合せ先　壬生町おもちゃ博物館宛に郵送するか、応募用紙備え付けの施設に直接応募してください。
〒321－02 栃木県下都賀郡壬生町国谷２３００
壬生町おもちゃ博物館☎０２８２－82－７１１１

壬生町おもちゃ博物館マスコット

## 第11回『みぶ文化教室』へのお誘い

〝心の豊かさを求めて〟をテーマに、第11回「みぶ文化教室」を開催します。
ご家族、ご近所お誘い合わせのうえ、ご聴講くださるようご案内申し上げます。

**９月２日(土)**
午後２時～

「今を生きる」
ニュースキャスター
福島　敦子　先生

**９月９日(土)**
午後２時～

「もののかたちと
ひとのきもち」
作　家　椎名　誠　先生

○会　　場　壬生中央公民館大ホール
○聴 講 料　無　料（聴講券が必要です）
※聴講券は、８月１日から役場住民課、稲葉・南犬飼出張所、壬生中央公民館で取り扱います。
○問合せ先　壬生中央公民館☎82－0108

## 寄付

（社会福祉協議会）
（○数字は寄付回数）

金８千円②　壬生町盆栽クラブ様
金１千７８４円①　匿　名　様
金１千７４０円①　ドリームチーム様
金４万７千８５５円②　ふれあい商店街様
金１万２千１５０円⑧　しんきん旅行会様
金２万円③　ふれあいカラオケ教室様

## 8月の納税等

●町県民税（２期）
●国民健康保険税（２期）
●国民年金（８月分）
（納期期限８月31日）
納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

## まちのうごき

７月１日現在

| | | |
|---|---|---|
| 総人口 | 40,053人 | （△８） |
| 男 | 19,755人 | （　３） |
| 女 | 20,298人 | （△11） |
| 世帯数 | 12,362世帯 | （　７） |

（　）内は前月比